

CIAT & AHPCによる 850MHz帯台湾トライアルについて

802.11ah推進協議会
国際アライアンスTG

■ 目的

日本における850MHz帯での利用を想定した実証トライアルを施行に先駆けて台湾で実施する。
トライアルによって通信性能を評価すると共に日本向け製品開発を加速する。

- 850MHz帯の実性能評価
実環境におけるduty制限なし、高出力、省電力性能の評価
- 想定アプリケーション
スマート農業・スマート漁業、スマートオフィス、監視カメラ・センサーシステム等
- 制度的課題と技術課題の明確化

■ 概要

実証期間：2026年3月9日～5月1日

実証場所：ITRI Campus（新竹市） / Fish Farm（竹北市） / Rice Farm（台南市）

実施主体：CIAT（Cloud Computing and Iot Association in Taiwan）と
AHPC（802.11ah推進協議会）による日台合同ワーキンググループ

■ 参加企業

機材提供：ALFA Network, AsiaRF, Accton, WNC, Askey Computer,
AzureWave（モジュール提供）, Sunmi

実証支援：ビート・クラフト, 富士通クライアントコンピューティング株式会社, ビーマップ, 村田製作所
NTT東日本, フルノシステムズ, サイレックス・テクノロジー, コネクト・フリー

トライアル実施場所

ITRI Campus (新竹市)



Rice Farm (台南市)



Fish Farm (竹北市)



850MHz帯を利用することで、広大な敷地や建物といった環境を有する様々な場面で、Wi-Fi HaLowのポテンシャルを最大限に活かした用途での採用拡大が期待できます

スマート農業・畜産



- ・土壌、気候センサーによるリアルタイム監視
- ・家畜の位置、健康状態の可視化

スマート漁業



- ・センサー機器による水質や養殖環境の遠隔管理
- ・広範囲での給餌の自動化

スマートオフィス



- ・広範囲での安全監視
- ・環境に合わせた空調や照明の自動制御

複数システムの包括制御

低コストの広域・高速システム

リアルタイムの連続的監視

AHPC 802.11ah推進協議会